



現場から（最近のニュースから）

ほんとうの問題



「2022年に読んだオススメ本3選」として「ニトリ」似鳥会長と「食ベチヨク」秋元代表から選抜され話題となっている『時間最短化、成果最大化の法則——1日1話インストールする“できる人”の思考アルゴリズム』（木下勝寿（著）ダイヤモンド社）から抜粋した記事がありました。その本は、短時間で成果を出している人がいる一方、頑張っているのに成果が出ない人もいる、その違いを研究して書かれたということです。その中から、ミスをしたときの対処法についてまとめてありました。

失敗やミスの原因を説明する際、「今回は外部要因であり、仕方なかった」「自分の責任ではない」という「思考アルゴリズム」（考え方のクセ）のひと、「自分が〇〇すればよかった。自分の責任だ」という「思考アルゴリズム」の人がいると言われています。そして、前者のように今回のことは、自分の想定外なので、私のせいではないという考え方では、再びミスをする確率が大きく、後者のように、自分が想定不足だったので、自分の想定範囲を広げようとする考え方の場合、大きなミスをする確率は減るということです。そこで、著者の木下さんは、「本当の意味で仕方ないことは存在しない」と言われています。例として、「道に迷う人は方向音痴だから迷っているのではなく、方向音痴なのに地図を持たない（スマホなどで地図を見ない）から迷っている。ミスが多い人は、ミスの発生率が高いのではなく、チェックをしないからミスが多い。タスクを忘れる人は、忘れっぽいからではなく、『わかるようにメモしていない』から忘れてしまう。本人は生まれ持った性格のせいにするが、実はちょっとした努力不足が犯人だ。」と言われています。（7月25日 DIAMOND online、<「人のせいにする人」と「人のせいにしない人」のほんのわずかな差とは？>より）

たしかに、すべてが自分のせいではなく、周りからや相手から問題をぶつけてきたと考える人は、自分を更新しようとしなくて、いつまでたっても成長せず、どこに行っても問題にぶつかります。しかし、自分のせいだと考える人は、更新し続けて、新しく挑戦することもできます。ただし、それですべてがうまくいくのではないのです。自分のせいではないと言う人は、そうせざるを得ないほど、その人自身が弱いのであって、もし自分のせいだと思ったらつぶれてしまうから逃げているだけなのです。また、自分のせいだと更新しようとしても、人間には限界があり、解決できない問題にぶつかったとき、更新もできず、自己嫌悪に押しつぶされてしまうでしょう。どちらも、問題を正しく見ずに表面に現れているミスを回避しようとするだけなので、実際に解決しません。では、実際のほんとうの問題は何であって、ほんとうの解決はなんなのでしょうか。すべての人は、人のせいにも、自分のせいにもできない、どうしようもない問題を抱えているのです。そのような、ほんとうの問題と、そのことへの答えはなにか、いっしょに考えてみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぼっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちに苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください